

わくわく ばんどう まちづくりディスカッション 2016

—坂東市市民討議会— 提言会 開催!!



▲提言書が委員長から市長に



▲参加者による発表の様子

11月19日、市役所多目的ホールにて、「坂東市市民討議会」提言会を開催しました。

当日は、8月に行われた「坂東市市民討議会」の報告内容の発表があり、その後、「学校×家庭×地域コミュニティの連携～地域の中で子どもは育つ～」をテーマとした提言書を、野口委員長が吉原市長に手渡しました。

市民のみなさんの「生の声」を行政に届ける市民討議会は、(一社)坂東青年会議所と市の協働事業として毎年開催しています。今後、参加の案内状が届きましたら、ぜひご参加ください。

2月26日、圏央道「境古河IC（インターチェンジ）」から「つくば中央IC」間の28・5kmが、いよいよ開通となります。これで、茨城県内の全線が開通したことになりました。市民のみなさんも、この日を心待ちます。道路とは、つながっています。希望への「みち」とも言いまして。

**圏央道
いよいよ開通へ
坂東市のさらなる飛躍に期待！**



坂東市長 吉原英一

ばんどう まちづくり

えるものであると、私は考えています。そして、まちづくりをすることは、まちづくりへもつながることになります。

していくことができます。現在、整備・分譲を進めている坂東インター工業団地にはじまり、道の駅などの交流拠点整備などの各種事業に着手しています。また、坂東ICに接続する新しい坂東市への第一歩を踏み出したところですが、まちづくりに大きな役割を果たす圏央道が開通すること

で、坂東市のさらなる飛躍に期待を膨らませています。圏央道は、都心から40kmの位置を結ぶ延長約300kmの環状道路で、首都圏の道路交通の円滑化、環境改善、沿線都市間の連携強化、地域づくり支援、災害時の代替道路としての大いな役割を担います。今

道路整備の必要性は、先の東日本大震災や昨年の熊本地震、一昨年の関東・東北豪雨、さらには昨年末に発生した新潟県での大規模な火災からも見られるように、防災や快適な住環境の観点からも欠かすことのできないものであると考えています。今後も、市民のみなさんにご協力をいただき、生活道路や通学路の安全確保などに配慮しながら整備を進めていきます。

この開通で、東京都から放射状に伸びる東名・中央・関越・東北・常磐・東関東の6つの高速道路が圏央道で結ばれることにより、本全国からの人、もの、情報などの交流につながり、産業経済をはじめとする生産向上や観光など、さまざまな面でまちづくりに活かします。

坂東市がさらなる発展を遂げられるように事業を進めてまいりますので、市民のみなさんのご支援とご協力をお願いします。